

ろう者と聴者が協働する手話言語学ワークショップ

第3回「日本手話の名詞表現」

企画・運営：松岡和美（慶應義塾大学）

3月7日（土）14時～17時
慶應義塾大学日吉キャンパス・シンポジウムスペース
参加費無料・定員60名程度（先着順・事前予約なし）
日本手話通訳あり

どなたでも参加できます

日本手話を母語とするろう者と言語研究を専門とする研究者・大学院生がグループに分かれて日本手話の文法を考察するフィールドワークの「シミュレーション」を行います。当日出席される方には、聴衆としてご参加いただきます。（コメント・質問の時間あり）

グループメンバーは、手話話者の母語に関する発見と言語研究者の知見と経験を活かして、全員が協力しながら手話データを収集し整理します。

この企画は日本言語学会「言語の多様性に関する啓蒙・教育プロジェクト助成」により開催されます。

後援：慶應義塾大学教養研究センター

問い合わせ先：慶應義塾大学 松岡和美研究室 matsuoka*z7.keio.jp
（*を@に変えて送信してください）